

事業承継並びにM & Aの課題について（改訂継続）

厳しい経営状況が続く中小企業にとって、事業承継に係る問題は極めて深刻な状況にあります。後継者のいる企業も、後継者のいない企業も、等しく課題を抱えていると思われます。

以前に実施された商工会議所および桐生信用金庫による調査結果から見ても、きわめて喫緊の課題であります。

昨年度の提言に対して桐生市より、『県と連携しながら事業承継支援を推進するとともに関係機関とのネットワーク強化を図り、支援策のあり方を研究・検討していきたい』との回答をいただいたが、中小企業にとっては具体的な支援策の実施を望んでいる現状から、桐生市独自の制度融資の導入等実行可能な支援策を研究・検討していただきたい。

また、昨年度より連携した株式会社ライトライトが運営する「事業承継マッチングプラットフォーム」の利用に際しては、桐生商工会議所にも常に情報を提供していただくことにより協調した事業が行えることができると考えます。

桐生市からの回答

本市の企業の大部分を占める中小企業において、経営者の高齢化や後継者不足の状況は深刻であり、廃業や休業に至る事業所が増加しております。平成29年度に、貴所及び桐生信用金庫と共同で実施した「事業承継アンケート」の結果をはじめ、近年の産業支援機関の調査などからも、事業承継は喫緊の課題であると認識しております。

国では、人口の減少、高齢化や事業所の減少による地域経済の様々な課題から、税制優遇措置などの事業承継対策事業を実施しているほか、群馬県においても、本市を含む県内126の支援機関と事業承継に係るネットワークを構築する「群馬県事業承継ネットワーク事業」を推進しており、専門家派遣を実施するなどして、県内事業者の円滑な事業承継推進に取り組んでいるところです。

本市といたしましては、事業承継に関する資金的な支援につきましては、国の「事業承継・引継ぎ補助金」や、群馬県の「事業承継支援資金」などを周知してまいりたいと考えております。独自事業といたしましては、令和5年度は、中小企業基盤整備機構及び中小企業大学校と連携し、「事業承継サテライトゼミ」を開催したほか、株式会社ライトライトと連携し、同社が運営する「オープンネーム型事業承継マッチングプラットフォーム relay（リレイ）」を活用した「relay the local 桐生市」をインターネット上に公開し、1社の記事掲載を行いました。さらに、事業承継を伴う店舗の改修費用を支援する「桐生市まちなか店舗リニューアル・事業承継支援事業」を実施しました。

いずれにいたしましても、事業承継は事業者ごとに状況や希望が異なることから、貴所をはじめ産業支援機関と連携し、幅広く様々な支援が提供できるよう努めてまいりたいと考えております。

〔回答担当〕 産業経済部商工振興課商業金融担当